

●黄色いセルに入力可能です

● はプルダウンバーから選択します。

作成担当者名 教諭 垂石 純尚

使用教科図書 (学校教育法附則第9条の規定による)		使用 副教材	
------------------------------	--	-----------	--

目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 窯業の作業を通じて、働くうえで必要となる基礎的・基本的な知識・技能を理解することができる。 ・ 協働することを通じて働き方を考えとともに、望ましいコミュニケーションの方法を探究することができる。 ・ 学習全体をおとして、働くことの喜びや大変さを実感し、将来の進路選択・実現に向けた意欲をもつことができる。
----	--

月	単元題材	指導期間	単元担当	目標	主な学習内容	指導内容表
5 ～ 9	窯業の基礎 ～板づくり		垂石純尚	技知能識	・板づくりによる皿の製作に必要な知識・技能を理解することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題意識1、3～6、9、12 ・ 知識・理解16、20、25～27、29～32、36、37 ・ 処理数40、41、43、44、46 ・ 時間時刻48、49 ・ コミュニケーション52～59、62～65、67 ・ 忍耐力73、76
				思判表	・目標をもち、課題を理解しながら改善の工夫を重ねることができる。	
				態度	・商品になることを意識し、丁寧に取り組むことができる。	
9 ～ 12	学校祭の販売に向けた準備		垂石純尚	技知能識	・製作方法や販売の仕方を理解し、取り組むことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題意識1、3～6、9、12 ・ 知識・理解16、20、25～27、29～32、36、37 ・ 処理数40、41、43、44、46 ・ 時間時刻48、49 ・ コミュニケーション52～59、62～65、67 ・ 忍耐力73、76
				思判表	・目標をもち、課題を理解しながら改善の工夫を重ねることができる。	
				態度	・商品になることを意識し、丁寧に取り組むことができる。	
1 ・ 2	ライン生産方式による製品づくり		垂石純尚	技知能識	・製品の規格を理解し、正確に生産することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題意識1、3～6、9、12 ・ 知識・理解16、20、25～27、29～32、36、37 ・ 処理数40、41、43、44、46 ・ 時間時刻48、49 ・ コミュニケーション52～59、62～65、67 ・ 忍耐力73、76
				思判表	・生産効率を向上させるための工夫をすることができる。	
				態度	・進路選択を意識し、集中して取り組むことができる。	

年間目標		<ul style="list-style-type: none"> ・窯業の作業を通じて、働くうえで必要となる基礎的・基本的な知識・技能を理解することができる。 ・協働することを通じて働き方を考えるとともに、望ましいコミュニケーションの方法を探究することができる。 ・学習全体をとらえて、働くことの喜びや大変さを実感し、将来の進路選択・実現に向けた意欲をもつことができる。 		
単元題材		目標		学習内容
5～9	窯業の基礎 ～板づくり	知識・技能	・板づくりによる皿の製作に必要な知識・技能を理解することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・身だしなみ、道具、準備、片付け ・清掃の仕方ほか学習のルール ・粘土に親しむ（手びねりの皿） ・皿ができあがるまでの流れ ・簡単な皿の製作（丸小皿、四角皿小など）
		思考力・判断力・表現力等	・目標をもち、課題を理解しながら改善の工夫を重ねることができる。	
		学びに向かう力、人間性	・商品になることを意識し、丁寧に取り組むことができる。	
9～12	学校祭の販売に向けた準備	知識・技能	・製作方法や販売の仕方を理解し、取り組むことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・陶器小物の製作 ・板づくりによる様々な皿の製作 ・役割を分担した仕事の仕方 ・やすりがけと釉がけの方法 ・他学科作業の振り返り
		思考力・判断力・表現力等	・目標をもち、課題を理解しながら改善の工夫を重ねることができる。	
		学びに向かう力、人間性	・商品になることを意識し、丁寧に取り組むことができる。	
1・2	ライン生産方式による製品づくり	知識・技能	・製品の規格を理解し、正確に生産することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校祭の販売品より発展的な製品（新しい陶器小物や皿）の製作 ・各単元で学んだことを生かした協働の仕方
		思考力・判断力・表現力等	・生産効率を向上させるための工夫をすることができる。	
		学びに向かう力、人間性	・進路選択を意識し、集中して取り組むことができる。	